

石川県立看護大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2019年度>

<改善報告書検討実施年度：2023年度>

石川県立看護大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、1点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた大学全体の取り組み>

大学評価の結果を踏まえ、内部質保証推進組織である「自己点検・評価委員会」を中心に改善に向けた検討を進め、2021年度に「石川県立看護大学質検証委員会設置要綱」を策定し、輩出する人材の質や教育の良否について意見を聴取し、教育の質改善に資することを目的とした「質検証委員会」を設置し、内部質保証体制及び「学位授与方針の視点から抽出された教育成果と課題」について検証している。「自己点検・評価委員会」からの点検・指摘・分析結果に基づき、学部及び研究科で改善活動に着手してきた。

このように、「自己点検・評価委員会」を中心として課題に対する改善を行うための仕組みを整備し、大学全体で計画的に取り組んでいることが認められる。さらに、内部質保証システムをより一層機能させ、課題を解決するために、2023年度からの「第3期中期計画」において教育に関する目標を立案しており、「質検証委員会」も含め、大学全体として問題点を確実に改善する姿勢がみてとれる。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているといえる。

個別の提言に対する改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は以下のとおりである。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	学部では、在学生及び卒業生へのアンケート調査や外部機関による各種調査、学生が就職した病院の看護管理者からの聞き取り調査などの調査、研究科では論文審査及び「大学院教育懇談会」を学習成果

石川県立看護大学

		<p>の測定方法としているが、学位授与方針に示した学習成果の測定ができているとはいいがたい。学位授与方針に定めた学習成果を効果的に把握・評価し、その結果を教育内容・方法の改善に活用するよう、改善が求められる。</p>
	<p>検討所見</p>	<p>学部では、2022年度のカリキュラム改訂にあわせて、学位授与方針に定めた学習成果の把握及び評価のために、各授業科目・実習科目と学位授与方針との関連や、外部アセスメントテストの結果と学位授与方針で求める能力との相関関係の分析を行っている。また、在学生・卒業生に対するアンケート調査において、学位授与方針に示す学習成果の達成度に関する項目を追加し、学習成果の把握している。その結果を学年及び年度ごとに分析しており、改善が認められる。</p> <p>研究科では、博士前期課程の開設科目と学位授与方針との関連を明確にし、「大学院教育懇談会」及び修了生アンケートについても、学位授与方針に対応した評価ができるように運営方法及び調査内容を改訂している。また、博士後期課程では、博士論文の評価基準と学位授与方針の対応について整理しており、改善が認められる。</p> <p>なお、博士後期課程の学位授与方針については、博士前期課程の方針に比して、修得すべき知識、技能、能力など当該学位にふさわしい学習成果が明瞭とはいいがたいため、一層の明確化が望まれる。</p>

◆ 再度報告を求める事項

なし

以上